

## チュートリアル課題 けしの花

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2015-07-15 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 東京女子医科大学 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10470/31169">http://hdl.handle.net/10470/31169</a>

Block 1-4 期

Tutorial 課題 No.14

「けしの花」

薬物の作用機序と体内動態（麻薬性鎮痛薬）



無断で複写・転載をしないようにしてください。また、著作権侵害となる場合がありますのでご注意ください。

2011

薬理学教室

シート1

5月のある日の夜、女子医大生のK子さんは、夕食時に今日あった出来事をお父さんと話しています。

K子「今日薬草園を訪れたのだけど、鍵のかかった囲いの中で咲いていたけしの花が見事で、お花屋さんの‘ひなげし’より迫力があったわ」

父「そうか。うちのおばあちゃんが癌と診断された時、ものすごく痛くて辛そうだったけど、この花からとった薬のお陰で、痛みが劇的に治まったんだ」

シート2

父 「おばあちゃんの担当の医師に聞いたんだけど、昔は、モルヒネの投与をためらっていたそうだ」

K子 「本当？」

父 「うん、それで薬の作用が切れて痛くて我慢出来なくなってから、はじめてモルヒネを大量に注射することを繰り返していたらしい」

K子 「モルヒネの一气飲みを繰り返していたって感じなの？」

父 「そう、だから色々悪いことが起こっていたようだよ」

K子 「でも今は、そんなことはないでしょ」

父 「そうだね。おばあちゃんは何時も薬の時間を気にして、忘れずにきちんと飲んでいるよ。最近は痛みも全くなかったようだ」